（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月23日　運輸省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和24年12月16日（金曜日）　第1099號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381．176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

TAIRA
99
TELEPHONE

入り亂れ遊説戰展開
參院補選愈よ高調

石原候補は十六日來郡

中盤線に入つて來た參院補選各候補者の遊説戰は愈々石城方部に主力を注がれて來た感だ、十日には服部（共産）榊原（社會）兩候補が平驛前及び市內各所で行つた街頭演説を皮切りに十五日には社會黨米窪滿亮、參議院議員大野幸一、田中利勝松井衆議院議員らが來平、榊原候補の應援に拍車をかけ一方、當選の豫測が濃いと見られている石原（民自）候補の遊説戰も十六日から三日間民自黨平石城兩支部の强力な推選で既報の日程により郡下各地を獅子くするが、中野寅吉候補も石城入りをなし奮闘を續けるなどあと九日を殘したこの選擧戰も愈よ酣となつた

榊原氏の日程

社會黨榊原嚴候補の遊説日程は十日平市、十五日四倉、草野方部、好間、赤井、內郷、湯本方部の炭鑛地帶十六日植田、勿來、川部、綿方部の炭鑛地帶十八日から三日間田畑縣議、一條興作（日鑛）大河原岩夫（炭勞）氏らが郡內各所に展開する計畫を進め勞農市民と共同戰線をはり社共々同斗爭を否定し十五日朝は平市驛前で『反動吉田內閣打倒演説會』を開き、好間、內郷湯本方部の炭鑛地帶に駒を進めた、なお知事選擧對策は十七日平市五丁目の協議會事務所に開き決定するが鈴木義男氏を推選するものといわれ十八日の縣連選擧對策委員會でハッキリした態度が決まる

期末賞與壹千五百圓
常磐炭鑛で支出

常磐炭鑛では十四日午後組合側と越冬資金、期末賞與等で團体交渉をもつたが、新賃金の組替が出來たので越冬資金要求の三千円は御破算にし期末賞與は一人平均七百五十円それに增資記念として一人平均七百五十円合計千五百円と決定妥決した

二千八百五十圓
古河炭鑛の支出額

古河好間炭鑛勞組では十四日會社側と越冬資金要求に就き團体交渉をもつたが會社側では增産前貸金六百円增産準備金六百円十二月中三万屯以上出炭があれば一人平均三百円の增産手當（組合に別途に十万円寄贈する）年末賞與六百円、新賃金組替による清算拂として本年度中に五百十八円合計一人當り平均二千八百五十円（税込）以上の名目で支給することで妥結した、なお給與炭は正月用として五人家族當り一トンと決まり炭住の壁替えは本年中に四千枚來年四月から四千枚着手することになつている

入場税義務者と懇談會

石城地方事務所税務課では十五日午前十時から本社ホールに管內の入場税特別徵收義務者と從業員五十名との懇談會を行い從來の規定に基いて申告嚴守、精算納入、證紙收入等の説明を行つたが特に證紙の『千切』の勵行方嚴守を要望した、これは入場券（證紙）の半片を入場者に交付しなければ確實に入場税を徵收した取扱いとならないからというのである

町村長會議

石城郡町村長會は十四日午前十時から地方事務所會議室に例會を開き先に決定をみた平保健所救急自動車購入資金及磐城産業文化祭負擔金五万円の町村分擔額を決定した、又議題となつていた樋口會長死亡による後任會長の選擧は時間の都合で次回廻しとなつた

磐南鐵道株主總會
十七日開く

磐南臨海鐵道では十日開く豫定だつた株主總會を都合で十七日午後一時からと延期した、同總會では社長の更迭、取締役の改選、定款一部（重役の增員）變更、會計監査報告とその承認がある

勞組を結成

小名濱町磐南臨海鐵道では十四日正式に勞組を結成した、組合員は部長級以上を除く二十九名で組合長五十嵐勇治、副組合長は梅津清の兩君、同組合では八月以來俸給未拂で悩んで來たため早速『奈佐社長一派を追放せよ』と本社事務室に大書したビラを貼出し賃金支拂の運動を始めた

約五十名の出血必至
石炭局對策を協議

平石炭局勞組では十四日午後三時から新役員決定後（委員長守屋靜氏）の第一回臨時大會を開き中央委員會報告後諸事に入り規約改正に就き協議したが起草委員をあげ檢討する事に決め第二次行政整理に就いては現在の組合情報では十一月一日現在數二百十五名に對し百六十九名程度に整理されるとみられ四十五名乃至五十名の出血は必至なので他局管內との配置轉換、最悪の場合には就職斡旋も行うとの基本的態度を決定した、なお越年資金保護運動については中央の要求運動と共に分會では共濟金が市中銀行からの融資により最低千百円程度獲得することに決め年末調整黒字分

補正米の割當決る

石城地方事務所では十四日午後一時から全所會議室に二十四年度産米及甘藷供出補正割當會議を開き十三日全所で開いた農業調整委員會で作つた案の縣農調委で決つた平市及び郡下の今年度補正米七万六千百五十八石、甘藷六十七万六千貫の町村割當について協議した結果原案の通り左の如く決定したが今度の補正額は既報の如く米は事前割當八万二千八百八十五石に對し六千七百二十七石の減で昨年よりも補正減量二千余石も多くなつている、又甘藷は事前割當七十一万貫に對し三万四千貫の減となつているが昨年は補正割當で十四万九千貫も減つているので事實上は昨年よりも十万貫以上も少ないことになつている

補正額左の通り、カッコ內は甘藷

泉四八〇石（四〇一六貫）渡邊一九五（九五〇）植田三〇五（三四一二）山田二三三（一七八五）錦三〇三（一〇八五）勿來四三一（二六五）上遠野一七三（七八九）入遠野一五九（六〇二）川部一〇一（八七九）田人八八（一四七八）飯野二〇九（九七）夏井三三六（九七〇）高久二四五（九六四）豐間一〇〇（九五一）江名二一〇（四六四）鹿島一八一（二四〇）小名濱四〇八（一七九二）磐崎三五一（六七二）湯本四〇（九二）內郷二一六（四〇）好間一四〇（一三三）赤井一四七（一〇二）永戸箕輪一四二（一五〇）澤渡三阪三二五（四〇〇）神谷一二八（一四〇）草野三八三（一五五六）大浦三二六（三三九八）四倉三二（三七四）大野二四五（六七三）上下小川一六〇（七六八）川前四七（七〇）平一三八（一四九四）計六七二七（三四〇〇〇）。

乘組員八名救助さる
海運丸坐礁し中破

茨城縣平潟町根本卯三吉出所有海運丸（七トン）は十三日午前二時十分ごろ小名濱港外平磯に座礁、乘組員八名は小名濱港に泳ぎつき救助を求めたので運德丸が救助に向い離礁した、船体は中破、損害四十五万円

最大風速二十米突
强風北海道沖へ

十四日から十五日にかけて吹きまくつた强風は小名濱測候所の觀測によると十四日午後九時現在の風速は北西十三米五最大風速二十米であつた、この風を吹きまくつた犯人は小名濱沖を通過した低氣壓で十五日正午には北海道沖へぬけて大暴れしている、なお被害はない模樣

妻を毆り檢擧

神谷村鎌田無職中野清（四三）は去る十月十七日內妻の渡邊ツナ子（二五）を附近の山中に連れ出し他の男と一緒に逃げる積りじやないかといいがかりをつけ毆る蹴るの暴行を加え全治三週間の傷害を與えたことが判り十四日平地區署へ

詐欺社長檢擧

東京都目黒區上目黑大洋興業株式會社取締役社長青木諒治（三八）は前に內郷町にあつて賣炭業を營んでいる頃好間村北好間鳳城炭礦株式會社小田炭礦から四十五万三千五百円相當の石炭を購入したが代金の支拂いに困つたため一策を構して積立金の無い常陽銀行平支店の當座預金小切手帳を利用し、去る八月五日代金を受取りに來た同炭礦勞務係井田清造さん（二七）をだまし十五万円の不渡小切手を渡して詐欺を働いたことが判り目下平市署で事件取調中

張込の網に五件かゝる
錦町署で取締

錦町署では去月二十日から縣下一齊に行われている刑法犯取締强化運動に基いて十二日全署員を動員、午前三時を期して管內要所に一齊張込みを行い煙草專賣法違反一件、窃盜一件、食管法違反一件の計五件に及ぶ現行犯を檢擧した

即ち錦町中田無職大久保敏二（五九）ほか二名は東白河郡竹貫村方面から葉煙草十一貫五百匁を運んで來た所を煙草專賣法違反で、また同字の無職江川ミサオ（三二）は勿來驛石炭置場から石炭十二貫を盜み歸る途中を窃盜罪で更に山田村下山田農業瀬谷實（三三）は同村の友人から白米二斗五升、モチ米六升を買い受け錦町內に賣りに來た所を食管法違反でそれぞれ檢擧した

昨夜の小火
一時は大騷ぎ

十四日夕八時三十五分ごろ古鍛冶町矢吹醫院隣無職眞田昌秋さん（二九）前の電線が漏電約十五米程燃えたが强風にあおられ一時大さわぎだつたが幸い被害はなかつた

鎌田にも小火

十五日午前十一時半ごろ鎌田町二三製パン業鈴木浩さん方の煙突が加熱により燃燒したがすぐ消しとめた

無錢飲食

澤渡村中寺無職星好美（三〇）は昨年一月頃平市田町料亭花村こと佐藤一男さん方で三千円に及ぶ無錢飲食をしたことが判り、また同字の無職松山太郎（四四）は來年七月頃平市正內町石城新炭林産組合から現金二万円を借り受けバクチに使つてしまつたことが判り十四日それぞれ平地區署に捕まつた

辯論大會は勞働會館で

濱通り高校雄辯連盟石城支部主催の辯論大會は十七日午前九時から會場を變更し勞働會館で開くことになつた

天氣予報　十五日

【今晩】北西の風やや强くよい天氣、相當冷込む

【明日】北西の風日中は南西風となり日中一時雲の廣がる事もあるがよい天氣、海上は季節風により多少波立つから船舶は注意を要する、なお空氣が乾燥していますから火の元にくれぐれも注意して下さい

短歌　俳句募集
題　元旦　締切十二月廿日
一人　二首
本紙元旦號に掲載、選者は短歌新妻久滿夫氏　俳句渡邊何鳴氏
いわき民報社

尋ね犬
淡茶色、成犬、小型、柴犬
丈一尺一寸位、耳立ち、尾卷
十二日より行方不明
右心當りお方は左記へ御知らせ下さい
薄謝を呈します
平市三丁目（電一・二三〇）　やまと百貨店

近火御見舞御禮
早速御見舞下され略儀乍ら紙上を以て御禮を申上ます
眞田朝義
平市古鍛冶町四（電四三六番）

近火御見舞御禮
早速御見舞下され略儀乍ら紙上を以て御禮を申上ます
矢吹大一郎
平市古鍛冶七番地（電話一一九三番）

かざりや
裝身具製作
平市佃町　關內

Xマスセール
福引　歳末大賣出し
1等（6本）タンス○洋服地○ラジオ○
2等（6本）鏡台○ボストン○化粧セット○
3等（50本）姫鏡○茶ブタイ○毛糸其の他○
以下5等まで空籤なし
☆100円お買上毎に福引券壹枚☆
☆50円は補助券☆
商品券
デパート　越　藤越（ふじこし）　平市銀座通　電265

壽司部を增設致しました
從前通り多少に拘らず御引立の程を
江戸前握り　立喰
出前迅速
食道樂　江戸川
才槌小路電一〇二

日比谷文藝選集　發賣中
川口松太郎集
富田常雄集
小島政二郎集
各六〇〇頁　一九〇円
平市銀座（電一〇七四）
石川書店

倍額割增付
現金摑取り
歳末大賣出し
12月15日より末日まで
お買上げ千円毎に　壹円貨　1回
百円毎に　拾錢貨　1回
副賞　50枚　100枚　150枚　200枚　250枚　300枚
上記の枚數を正確にお摑みの方にはお摑みの倍額を進呈します
平市一丁目電339
常盤屋時計店

離座敷增築
忘年會　新年會に
暖い靜かな御座敷を御利用下さい
御宴會は御相談に應じます
◇お酒持込歡迎致します
江戸前お料理　西鳳
平市長樂劇場前　電話三五〇番
佐藤優子

亡父文吉儀葬途の際は御多忙中遠路御會葬下され且御鄭重なる御香奠を賜り御厚志の程有難く深謝致します
右は拜趨御禮申述ぶべき處略儀ながら紙上を以て御禮申上げます
昭和二十四年十二月十五日　平市大町
妻　三井ミネ
喪主　三井善次郎
外親戚一同

郷土の生んだ大學者

原坦山（下）

猪狩義雄

私は、この原稿を書く冒頭に於て、坦山のことを、大學者と呼んで紹介しました。そこで、その理由に就て、これからお話申上げることに致しましよう。坦山和尚は、而も後には曾洞宗の管長ともなり、また、曾洞宗大學林の總督にもなった程の學識兼備の名僧であったのであります。そして、明治十八年には學士院會員に推されたという、まことに、偉い學者であります殊に誇り得るのは、明治十二年東京大學、これは以前の名前で、只今も、また、この名に改められたようでありますが、即ち、東京帝國大學の前名なのであります。この我國最高學府に印度哲學科が初めて設けられました時、その初代佛教學講師に選ばれた人が誰あろう、わが原坦山なのであります。所謂、この一事に於ても、坦山が如何に素晴らしい大學者であったかが容易に窺われると思います

坦山和尚が、大學の講師に選ばれた、いきさつには、こんな噂もあります。彼の一休和尚などのように、奇行瓢逸の風ぼうがありました坦山が當時まだ東京の淺草へんを彷徨して居りました頃であります。時の、大學總長、加藤弘之博士が、佛教にも、なにか哲學がありそうだからとの見透しを以て、佛教を大學の哲學科に採入れることになり、數ある佛教學者の中から、その講師に見出されたのが、この坦山和尚であったのであります。坦山が、大學で初めて講義した『大乘起信論』というのは『淨土敎の一考察』と題して、曾て私が佛教の講演を致しましたときに一寸語っています通りこれは有名な印度の馬鳴菩薩が著した論書でありまして要は、彌陀信仰の德を敎えてるものであります。即ち、菩薩はこの書の中で『若し人專ら西方極樂世界の阿彌陀佛を念じ、修する所の善根を廻向して彼の世界に生れんと願求すれば即ち往生を得。常に佛を見るが故に終に退することなし』と云ってますことに依りましても、この論書の概略が窺われることでありましよう。禪門の坦山和尚にして、而も劈頭第一番に、他力信仰の起信論義記などを講義したと云うことも、まことに、面白いことでありますが、併し私が今回、坦山を文化日本の先驅としてしよう讃するのはかの未開時代にあって、大膽彼が進歩的な學者であったということにあります。それには、まず、こんな原因があったのであります。坦山がまだ京都白川の心性寺住職をしていた時分のことでありますが、或日、海老屋という衣屋で、はからずも、小森宋二という蘭醫に出會った、色々世間話をしているうちに、話はいつか佛敎の六識のことになり小森がいうには『佛敎では佛心とか、ね般妙心とか、また、八識心王とか云うことをいっているが、一体、心とは身体の何處にあるのか、それが分らないでは、精神だの、魂だのといっても、結局空論ではないか』こう語るのであります。併し、坦山はこれに對して一言も答えることが出來なかったのであります。そして、このことがあって以來坦山は既に洋學研究に必要を知り、即ち、實驗實證を貴ばねばならぬことを痛感したのであります。そして、佛敎の研究も從來のような、在りきたりの研究方法では駄目であって、實驗的科學的にやられねばならないということを主張し、自らも、醫學や理學等を研究しながらそれを實行に移し、遂に彼の『惑病同源論』『腦脊異体論』『佛法實驗錄』などの書を著す結果となったのであります。このような坦山の新らしい思想に刺戟を受け、坦山以後に於ては、この進歩主義の佛敎を主張するものが、次第に殖えて來て、東京帝大を本據とする、村上專精博士や姉崎正治博士等を始め、文化的な新進佛敎學者が其後ぞくぞくと輩出したことも、まことに、偶然では、なかったのであります。

（筆者は弘昭法師）

勞災保險制度も不圓滑

一千二十万圓滞納金のため

働らく勞働者の基本的な生活を維持するために設けられた勞災保險は金詰り旋風によって縣内の約八割を支拂っている平勞基署管内にかいては十二月一日現在で勞災保險金の未納、實に三百四十四件（一千二十四万円）に上りこれによる影響で災害死傷による療養、休養、遺族、傷害保償を支拂ってもらえない勞働者が管内に約五百人もおり『これでどうして生活をしてゆける』と途方にくれている慘めな狀態になっており働く勞働者の基本的人權が侵害されようとして來ており社會問題となって來た、同署ではこの事業主の未納により勞災保險金の給付に行詰りを生じている、なお災害死傷者で保險金のもらえない勞働者の中から悲慘な例を拾って見る

◇その一、某炭鑛の或る勞働者の妻は賴みにする夫が職場でたおれたため働き手を失いその上遺族保償費ももらえないと遂に發狂した

◇その二、某木材業所の夫妻が同時に傷害で寢込み小さい子供五人をかゝえて傷害保償費をもらえないでその日の配給米もとれず一枚のせんべい蒲團に家内七八して寢ている

◇その三、某炭鑛に働いている採炭夫が傷害でたおれその妻はちかくお産すると云うのだが傷害保償費ももらえないで途方にくれている

その他數多く悲慘な例があるが同署ではこれに對し保險金が過少なため拂えない狀態にありこれらの災害死傷や家族達に對し一時的扶助を各役場の民生委員を通じ災害保償費が來るまで一時しのぎに受給しておくよう要望している

滞納處分を强行

五名の應援を求め

平勞基署では十九日から二十五日までの六日間にわたり福島基準局から髙橋勞災保險課長ほか五名の係員に應援を求め第二回勞災保險金未納の徵收特別運動を繰り擴げることになり滞納者には二十六日から一齊に差押えを强行することになった、徵收件數は三百四十四件（一千二十四万円）である

富岡浪江線

バス再開

常磐交通では戰時中廢止した富岡―浪江線バスを地方民の要望により十五日から再開した富岡發六、五〇、九、三〇午後四、一〇　浪江發八、〇〇　一二、〇〇午後五、三〇なお富岡川内線も同日から强化し川内發七、〇〇　午後二、〇〇、富岡發九、五〇午後三、三〇を增發

鐵道の犯罪

十一月分

平鐵道公安室管内の十一月中に於ける犯罪發生數は十一件を數え內檢擧が二件、未檢擧九件となっている、これを犯罪發生種別に見るとスリ三、置引き二、拔取り四、列車妨害二その他一となっており十月の犯罪發生數と同數である

ボロ回收籤

の當選クジ

平市敎育課では物資愛護のため昨年市內の小學校兒童からボロの回收を行ったがその時引き換に交附した籤の抽籤がこの程縣で行われた結果市内では二等毛糸一ポンド（三百五十五円）八本、三等洋傘一本（五百四十五円九十一錢）四本、八等麻手拭（五十円十二錢）四十本、九等中古手袋（十四円九十七錢）七本の配給券が當って居るので當選者は、十日迄に同課より配給券を受取るよう要望している

二等、一一、一四、一二、四八、五六、一七二、一七六、二八一、三等、一八七二〇四、二三一、三一四、八、九等略

學校衞生協會

十六日開く

小中高校々醫、衞生主任等から組織されている學校衞生協會平支部では十六日午後二時から平商高校に部會を開き各學校の活動狀況等につき協議する外活潑な動きを見なかった今協會を今度は一段と飛躍させて橫の連絡を强固なものとして具體的な運營方法を定めることになった

カリキユラム編成

十七日平一小で委員會

平市の小中六校ではかねてからカリキユラム編成について準備委員會を設けて平市としての敎育計畫樹立を叫んでいたが、いよいよ具体的に着手することになり十七日午前九時から平一小に委員會を開き各校より更に百名の委員を任命して本年度中に各方面を調査して一定の目標を定めることになった

町村カリキユラムの編成についてはすでに內郷町で縣下に誇るものが出來上っただけに平市の場合は非常に注目されて居り全委員會としては本年度に基準を設けて二十五年度一杯かかってぼう大なカリキユラムを編成する豫定となっている

長倉校母親學級結成式

湯本町長倉小學校の母親學級結成式は十八日午前九時から全校で開き式後子供のしつけについての座談會を行う

Xマスのユメ

金銀の玉を抱えて

良い子は僕だ、私だ！

隣保館　嬉しい準備で大童

サンタクロースのおぢいさんが何を持って來て吳れるだろうか日一日と近ずいて來るクリスマスを前に此處の三百十人の子供達は保母さんから聞く未だ見ぬ國の風習にうつとりと聞き惚れて自分が誰よりもよい子になろうとしている、よい子になればサンタぢいさんはきつと誰よりも良い贈りものを持つて來て吳れるに相違ないその子が僕だわたしだ

此處みんなよい子達の樂天地だからサンタぢいさんは夜が明けてみんなが集った處に來ることになっている子供達はいまそのおぢいさんをお迎えするために館內をきれいに飾りつけて待つことになった、子供達は飾りつけの木の實を拾いにみんなして山へ登っていったあのやぶこうぢの眞っ赤な玉が雲の中にぽつんと落ちている風情はどうだろう、そんなことをよい子達は考えてわっと歡聲をあげた、するとどうしたことだろう不思議にも、そのとき急に夜になって空にはきらきらと星が輝き出した、その星々からは星の精が下りて來てみんながびつくりしている前で美しい踊りをおどつて、又あの空に昇っていつた（中里保母作、星のおくりもの）

良い子達は星の精が去ったあとに殘された金銀の玉を兩手にかゝえてサンタぢいさんを待つための飾りつけに小さな身体をよろこびで滿たしながら一生懸命に工夫をめぐらしているが、果してぢいさんの大きな袋の中から轉り出すのは何だろう―お人形と、ぬり繪と、首振り人形と、それから―

技術と傳統を誇る安價提供の大塚へは
平市三田小路　電七七

宅地家屋賣買物名
龜田屋商會
平市三丁目

◎見マシタカ？
一つの日メクリが二十ケ年ツカエル
鏡カレンダー
金屬製　三六五円
東北一手代理店
平市長橋町三〇　吉村ガラス商工　電話六八九番
平市銀座通りヘナブサ　平英ガラス商工　電話九五八番
平市新川町六　新妻ガラス店　電話一四二番

募集
助產婦　實地見習若干名
御希望の方は至急御來談下さい
猪狩正子
平市五丁目三　電四九一番

精神科
平市才槌小路
新田目醫院
電話１５番

土地家屋賣買
中央會館
電九一五番
公會堂涌錦湯隣

豐富に入荷御一覧を乞う
Xマスツリー　羽子板
セツト各種
官公衙學校銀行會社料飲店
一般の裝飾一切御引受けします
平市驛前通り　いわき民報社隣り
東京屋商店（電561）

おいしい支那そばは専門店の華香樓へ
電七〇二番
出前迅速

新裝！
貴女がキット
お氣に召す
新らしい
美容室
平市銀座通り
メイ美容室

一般家庭用　經濟的で
木炭より德用　火付良く
棒タドン
市原商店特製
コタツ、暖房、病人用
御注文には配達致します
市原商店
平市一丁目　電244

クロパン

●忘年新年宴會●
愉快に過せる藥―
悪醉　食すぎの消化
頭痛腹痛の「クスリ」は
あこう藥局
平市銀座田町電44

忘年會　新年宴會
中華料理
大勉强
テーブル料理も御相談に應じます
△御家族連様は特に歡迎
中央通
新開樓
電1136番

◎奉仕◎
冬物
セビロ上衣　オーバー多量入荷
最新型
洋服専門
鈴藤
賣店　不二ストアー角
世界舘前　電八八六